

ヨコハマ3R夢プラン

「食べきり協力店」を知っていますか？

横浜市内の食品ロスは年間93,000トン。年間で一人あたりおにぎり約250個を捨てることになるんだって。

「ヨコハマ3R夢」マスコット イーオ

ここで！「食べきり協力店」をご紹介します。

へら星人ミーオ

これは「食べきり協力店」のステッカーだね

「食べきり協力店」って何？

あれ？これってなんだ？

メニューに小盛があるなど、食品ロス削減に取り組んでいるお店の印なんだよ。

1 2 3 4

じゃあ、僕は小盛でお願いします！

そっなんだ！

食べきり協力店では、小盛メニューを導入したり、食べ残しを減らしたりする呼びかけなどを行っています。

横浜市 食べきり協力店 検索

☎ 資源化推進担当 ☎ 800-2398 fax 800-2507

きれいな川と明るい新年

大掃除や洗車をされる際のお願いです

道路に降った雨水は、側溝や水路から直接川や海に流れます。年末に大掃除や洗車をされる人をお願いします。大掃除などで出た廃水は宅地内にある排水口へ流し、洗車は洗車場など排水設備の整った場所で行いましょう。

川や海をきれいに保つために

道路側溝や水路などに入った街中のごみは詰まりや悪臭をおこしたり、そのまま川や海に流れてしまいます。漂流ごみは、野生生物が餌と間違えて誤飲したり、ひも状のものが体に絡みつくなど、大切な命を奪ってしまう原因ともなります。ごみのポイ捨てはもちろん、集積したごみが飛散しないように注意しましょう。

また、大雨時に水の流れを遮り、水路機能を阻害する可能性があるため、河川・水路敷に物を置かないでください。

☎ 泉土木事務所管理係 ☎ 800-2532 fax 800-2540

泉消防署からのお知らせ

家庭防災員を知っていますか？

家庭防災員とは、自らの家庭は自らで守るという考えのもとに、防災の知識と技術を学んでいます。研修を通じ、自らの家庭を守るための知識や技術を身に付ける「自助」とともに「共助」の重要性についても理解を深め、地域防災の担い手として活動しています。

家庭防災員研修の主な内容(例)

防火研修	救急研修	災害図上訓練(DIG)
自宅の出火防止や初期消火の方法などを学びます。	家族が突然倒れた時のために、応急手当やAEDの使用方を学びます。	大きな地図を囲み、危険箇所や避難場所などの情報を書き込み、地域の防災対策を学びます。

詳しくは、泉消防署総務・予防課予防係までご連絡ください。

横浜市 家庭防災員 検索

☎ 泉消防署総務・予防課予防係 ☎ fax 801-0119

地域のちから

しらゆり地区 白百合台自治会防災委員会

～地域のコミュニケーションは“防災”から～

白百合台自治会防災委員会は、自治会役員経験者、地域のソフトボールチームOBおよび青年団Fellowsの団員などで構成されており、白百合台自治会、しらゆり連合自治会および地域防災拠点運営委員会などが主催する年3回以上の地域防災訓練をけん引しています。

10月にしらゆり公園で行われた白百合台自治会防災訓練には、大勢の子どもを含む120人を超える住民が参加しました。中田消防出張所の隊員や泉消防団第一分団員の指導の下、消火栓からの放水訓練や水消火器を使った消火訓練、非常用発電機と非常用トイレの実演説明など、体験しながら学べる良い機会となりました。

防災委員は「住宅が密集する地域では、いざという時に住民の協力が必要になる。防災訓練に参加することで住民同士の交流が生まれ、共助によってまちを守る大切さに気付いてもらえるよう、今後もまち全体の防災に努めていきたい」と話しています。

放水訓練の様子

非常用トイレの説明を受ける参加者

☎ 地域力推進担当 ☎ 800-2333 fax 800-2505